



石川総合理解講座

# いしかわ

## 大百科



～石川県民大学校放送利用講座～



まなびの心  
かがやく人生

番組へのご意見は…

● 石川県教育委員会事務局生涯学習課  
☎ (076)225-1836

● テレビ金沢 報道制作局制作部  
☎ (076)240-3344



### 放送予定表

平成28年前期4月～9月 手話通訳つき放送

## テレビ金沢 日曜午前 7:00～7:30

提供/石川県教育委員会 企画・制作/テレビ金沢

## シリーズ・きらめくアイデア～モノづくりにかける～ (全15回)

薫り高い伝統を誇る石川県には魅力ある商品開発やモノづくりに情熱を注いでいる人たちがいます。全国にその名が知られるほどの人気を得ていたり、私たちの暮らしを豊かにしてきた商品の誕生秘話やこだわりをひもときながら、石川の今を熱く生きる人たちに注目していきます。

### 第1回 4月17日(日)放送 次代のアーティストを育む～月浦工房～

若手の作家たちの活躍の場を広げようと、2008年4月に金沢市月浦町の空き家を改修・整備して立ち上げられた「月浦工房」では、金沢の希少伝統工芸・加賀象嵌の若手金工作家たちが入所し、ジュエリーやステーションナリーといった、これまでの加賀象嵌とはひと味違う作品を生み出しています。

### 第2回 5月8日(日)放送 新素材に挑む～和紙の新しいカタチ～

石川には二俣や雁皮といった伝統的な和紙がありますが、独自の方法で新たな和紙の世界を表現している企業があります。素材感そのままに、直接水を入れて使える和紙の花器「かみわん」(紙あさくら/金沢市)や、織物の技術を活かして和紙を経糸に織り込んだ新素材「ネギー口」(オリケン/羽咋市)は紳士服メーカーの生地にも採用され、環境にも優しい和紙として新たな可能性を広げています。

### 第3回 5月29日(日)放送 古民家を新築で～温もりの住宅～

金沢を中心に町家の再生が進む中、新築による古民家として誕生した「樂家樂座」(TAKATA建築/金沢市)は安らぎと温もりのある家をコンセプトとしています。家族が集うための囲炉裏を設けるなど、今の時代だからこそ求められている住空間は業界最大級の住宅施工例コンテストでも「地域優秀賞」を獲得し、石川らしい家づくりに注目が集まっています。

### 第4回 6月19日(日)放送 ペット愛情物語～思いやりをカタチに～

今や家族の一員として大きな存在にもなっているペット。石川県には大切な家族を癒すアイデアがあふれています。病気や老齢により歩行困難になった犬のための専用車いす「ナビポック」(シグ・ワークショップ/白山市)は愛犬への思いやりから生まれました。また、ペットのストレスフリーを実現させるグッズやサービスなど、石川には生き物たちへの優しさがあふれています。

### 第5回 7月10日(日)放送 和のこころを世界へ～水引アート～

「ハレ」の場だけではなく日常でも楽しめる水引をコンセプトにかかげられた「ワダンスタイル」(自遊花人/金沢市)は、伝統の水引を現代の感覚でアレンジし、日本のおもてなしの心を世界に発信しようと取り組んでいます。アクセサリーのみならず、空間装飾といったインテリアとしても水引の新たな美しさを醸し出しています。

### 第6回 8月21日(日)放送 里山からの恵み～県産材を活かす～

建築用や輪島塗の生地として使われるものの、間伐材としては無価値とされていた「能登ヒバ」(県木アテ)を使ってアロマオイルや香りのする箸などの商品開発が行われています。また穴水町の木工会社では、灯りが透けるほど薄くスライスした木を使ったバッグを制作するなど、巧の技で県産材に新たな命を吹き込んでいます。

### 第7回 9月18日(日)放送 日本の美!～小松イ草プロジェクト～

生活様式の変化で畳文化がうすれていく中、日本でもっとも北に位置するイ草の生産地・小松市では、生産農家らが「小松イ草拡大プロジェクト」を発足させ、普及拡大やアート作品の創造を通してその魅力を発信しています。小松イ草を使用した上質な小松畳表だからこそできる新たなカタチです。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)

県民大学校については石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。

〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階

電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585



### 大百科セレクション・再放送

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。

### 7月31日(日)放送 熱き能登の民～能登町～

平成22年8月1日(日)放送

能登は祭りや神事の宝庫と言われています。能登町には先導の船に神輿を乗せ、高さ20mほどのとも旗を立てた船とともに九十九湾を周回する「とも旗祭り(小木地区・5月)」や、40本以上のキリコが町を練り歩き、神輿を海や川、火の中に投げ込むという「あばれ祭り(宇出津地区・7月)」といった勇壮で華やかな祭りが受け継がれています。